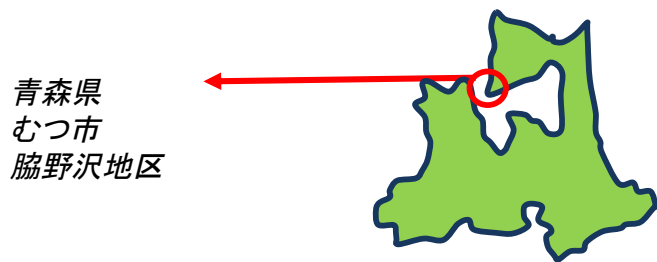


取組の概要

対象品目 : そば
 主な取組主体 : むつ市脇野沢農業振興公社
 成果目標 : 労働生産性の6%以上の向上
 基準 (R2年度) 944円/h・10a
 目標 (R5年度) 1,003円/h・10a
 導入施設等 : 生産支援事業
 (コンバイン、スタブルカルチ、プラソイラ)



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

本地域では、雑草対策のためは種までに多数の事前耕起が必要であるほか、排水不良の農地が多く、さらにそばの刈取にも多大な労力を費やしている。
 そのため、高性能機械の導入により、ほ場改良のほか、単位面積当たりの総労働時間を削減し、捻出した時間を活用して販路を開拓し、販売額の増加を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】

脇野沢農業振興公社が「そば」の作付けに必要な機械等のリース導入支援

産地体制

むつ市脇野沢農業振興公社

○耕起・収穫作業の機械化による省力化

むつ市、下北地域県民局等

・定期的な栽培技術講習会の開催
 ・栽培指導

機械リース

指導・助言

取組成果

【事業実施による直接効果】

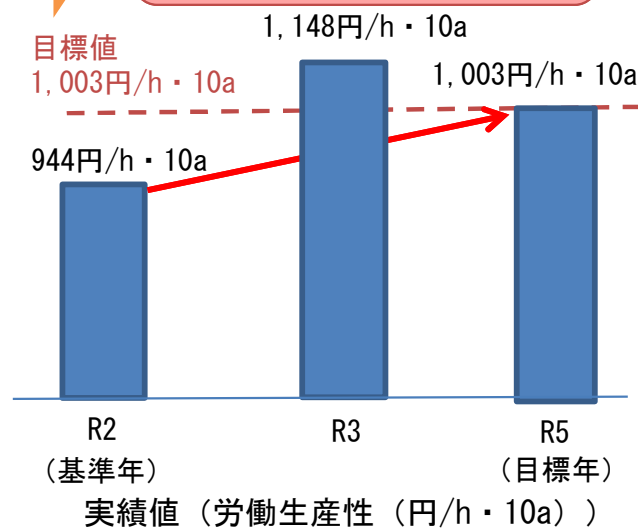
産地におけるそばの労働生産性向上

【事業実施による間接効果】

耕起・収穫作業の機械化による省力化。



労働生産性が
6%以上向上



地域における独自の取組

〈主な取組〉

○耕起・収穫作業の機械化による省力化を図り、遊休農地を活用して面積を拡大